

議 事 概 要

令和4年度 第2回宮城県地域職業能力開発促進協議会

1 日 時

令和5年2月27日(月) 10:00~12:00

2 開催場所

仙台第4合同庁舎2階共用会議室

3 議 題

- (1) 宮城県の雇用失業情勢等について
- (2) 第2回中央職業能力開発促進協議会の概要について
- (3) 各機関の実施状況及び令和5年度の実施計画について
 - ①宮城県の実施する公共職業訓練について
 - ②(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構の実施する公共職業訓練について
 - ③求職者支援訓練について
 - ④リカレント教育を実施する大学等の取組事例について
学校法人先端教育機構 事業構想大学院大学 仙台
「次世代みちのく地域イノベーター養成プログラム」
- (4) 令和5年度宮城県地域職業訓練実施計画(案)について
- (5) 公的職業訓練効果検証ワーキンググループが実施する検証対象分野の選定について
- (6) 質疑応答
- (7) その他

以上の議題について、報告及び説明を行い、全委員の承認を得る。

4 各委員の意見等

- ・各実施機関からの報告の中でIT系訓練の受講者確保に難しさがあるとの話があった。今後も枠を増やしていく方向となっているが、ただ定員枠を増やしても応募者が少ないままではあまり意味がなくなってしまうので、募集・広報をどのように積極的に働きかけていくかが一つの課題と思う。
- ・令和5年度職業訓練実施計画(案)に関して、大きくはコロナモードからDXモードに大きく変わったという点がポイントかと思うが、応募者の獲得に是非努めていただきたい。
- ・ワーキンググループによる効果検証においてヒアリングする企業の選定にあたって、企業規模等を区分した選定をお願いしたい。IT企業に入った場合、大企業のIT部門に配属の場合、中小企業においては特にITと直接的に関わりのない中小企業に入った場合等、意識した区分をお願いしたい。
- ・ヒアリングに加え、定量的な調査として簡単なアンケート調査も平行して行えたらよいと思う。
- ・訓練内容に対する検証を行うことは非常に重要なテーマであり一歩進んだと思う。今後のヒアリング結果を受けて、来年度以降の調査のあり方についてもさらに検討を加えていただきたい。